

《09 対県賃金確定闘争》妥結！ 重要課題において前進的的回答を引き出す！

- ◆給料表の改定・現給保障額の引き下げは2010年4月から先送り
- ◆自宅に係る住居手当は、本年4月から11月まで減額調整せず、廃止に向けた見直しは来年度協議
- ◆子育て支援休暇の対象事由に授業参観・入学式・卒業式を含める
- ◆勤務実績の勤勉手当への反映措置については、来年度も特例措置を継続
- ◆非常勤講師等に対する病気休暇・特別休暇の適用
- ◆介護のための短期休暇の新設・ボランティア休暇の対象事由を拡大
- ◆病気休暇取得期間の見直しについては来年度改めて協議

など



独自カットの問題については、財政状況や行革プランを再検討する中で今後も引き続き協議していくことを強く要求した。(11月26日、県庁にて)

◆これまでのとりくみ
兵教組はこの間、県職労、兵高教との共同を強化し、要求実現をめざして県教委交渉を積み重ねてきた。9月28日第1波統一決起集会、11月4日第2波統一決起集会、11月12日県内7カ所での一斉座り込み行動、地区代表による県民局長要請行動をおこなった。

また、11月16日青年・女性統一決起集会、兵教組独自に11月18日事務職員部・栄養職員部総決起集会などの大衆行動や、女性部(11月9日)、事務職員部(11月10日、18日)、臨探部(11月11日)、養護教員部(11月12日)、青年部(11月16日)、栄養職員部(11月18日)などの各専門部ごとの対県要請行動を積み上げ、現場からの要求を訴えてきた。さらに、本年度新たに各

09 対県確定闘争において、兵教組は、11月26日未明、最終の県教委交渉を実施した。これまで県教委は、本県の財政状況の厳しさを強調し、また、人事委員会勧告どおり、国準拠、独自カットの継続などを示唆してきた。また、病気休暇の見直し、勤務実績の勤勉手当への反映の検討にも言及し



支部において「09 対県確定闘争勝利！支部要求実現集会」を開催し、重点要求や具体的とりくみについて全組合員で意思統一をおこなった。第2回・第3回県教委交渉の後には、「闘争速報」にもとづき、各分会からの「要求ハガキ行動」をおこない、第4回県教委交渉の後には、各支部・専門部からの「要求レタックス行動」など、交渉経過に応じたとりくみをおこなった。

◆県教委最終回答
県教委からは最終段階で、給料表・現給保障額については2010年4月からの引き下げ、今年度の自宅に係る住居手当は12月分から月額2,500円とすることとし、減額調整は行わない、子育て支援休暇(子の看護休暇)の対象事由の拡大、などの回答があった。

そして、今次確定闘争の最重要課題である行財政構造改革に係る独自カットについて、教育長は「本県の財政状況は、本心に厳しい状況にあります。さらに、今後の財政運営の見直しについても明るい材料を見出すことができない状況にあります。大変厳しいお願いとなり、誠に申し訳なく思うところではありますが、兵庫県の再建のためには、来年度も引き続き皆さん方にご協力いただきながら得ない状況にあります」と述べ、頭を下げた。

兵教組は第8回戦術会議において、今回の県教委回答は、重要案件とした諸課題について当初提案から前進をはかり、現在の情勢にあつては一定の成果があつたと判断し、満場一致でこれらを確認し、11月26日午前6時30分、今次対県確定闘争において、妥結することを決定した。また、独自カット問題については、財政状況や行革プランを再検討する中で引き続き要求していくことを表明した。県の財政状況が非常に厳

おちば
西宮市安井小学校 二年 山田 まお

じめんにひいたよ じゅうたんを
あかやきいろの じゅうたんを
はつばががせて おちたおちた
しあわせはこんで おちたおちた

じめんにひいたよ じゅうたんを
あかやきいろの じゅうたんを
きれいなようふく きたよきたよ
みんながうの きたよきたよ

じめんにひいたよ じゅうたんを
あかやきいろの じゅうたんを
おちばとおはなし したよしたよ
みんないっしょに したよしたよ



淡路市山田小学校三年 桐座 慎之佑

あなたと誰かをつなぐもの。

団体生命共済

死亡・障害を保障。公務・交通災害死亡はさらに厚い保障。
1年ごとに契約内容を見直すことができます。

契約例 独身の方におすすめ

死亡300万円タイプ(3口)の場合

死亡・高度障害 …300万円
公務・交通災害死亡 …450万円
所定の障害 …120万～15万円

月掛金 810円

契約例 大きな保障が必要な方に

死亡2000万円タイプ(20口)の場合

死亡・高度障害 …2,000万円
公務・交通災害死亡 …3,000万円
所定の障害 …800万～100万円

月掛金 5,400円

※すべて60歳以下の場合の掛金です。

資料請求・
お問い合わせは

教職員共済生活協同組合兵庫県支部事業所
FAX:078-221-1199 TEL:078-221-9730
住所:神戸市中央区中山手通4丁目10-8

*この広告は医療共済、団体生命共済の概要をご説明しています。ご契約にあたっては各共済のパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください、制度内容をご確認ください。

教育 ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8

兵庫県教職員組合

発行人 山名 幸一
編集人 川原 芳和
電話 050(3538)2346
1部7円 年定価280円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2009/12・11

No. 1755

2面

・ひょうご教育フェスティバル
分科会・展示・体験コーナーアンケート、速報「まめプレス」より
概要と参加者の声(一部抜粋)

しい中で、これらの前進的
回答を得たのは、「賃金・
労働条件の改善に関する要
求書」を99・93%という高
率で集約できたことにあら
われるように、兵教組組合
員の団結の力によるもので
ある。(妥結内容の詳細は
「速報」No.12、13を参照)



私と冬
神戸市太山寺中学校 一年 平越 理紗

気温が低くなった。
あの季節は容赦なくなってくる。
風は厳しく鋭く吹き、
木ノ葉を飛ばす。
雪は矢のように降る。
雪が全ての音を包み込む。
空気が乾き、手に静電気が伝わる。
戦いの合図だ。
始まってしまった。
やってきたあの季節との
戦いの始まりだ。

(いづもの詩と絵 第29集より)

3 社会科教育
主な意見として「子どもたちが主体となり繋がり深め合うためには、まず教員が教材と向き合い、何を子どもたちに伝えていくのかを明確にし、子どもたちが思考するような提示をして



12 幼年期の教育と保育問題
「絵本の読み聞かせ」「調理実習」「給食」「体験入学」「運動会」「プール」など様々な交流が報告された。
★交流は小学校、幼稚園の

16 男女共生教育
「学校の姿・あり様は子どもに大きな影響を与えている」と伝える「分会で納得いくまで話し合う」とのとりくみへの意見があっ



★「先生とのコミュニケーションの重要性」「自分たちは「サポーター」だ」と意識した活動」「子どもが大人とかかわりの中で成長した」「学校・PTAと地域の連携で、登下校時の道路が安全になった」という学校をサポーターする地域の方の声を聞くことができた。



郷土料理教室参加の子どもの感想に
はかわいいイラストが多くあった。



懸命に山の芋をする子ども。
(親子郷土料理教室より)



満足げにできた布ぞうりを履く子ども。
(布ぞうりづくりより)



★地域素材を生かした学びが勉強になった。

★専門的な内容が詳しく討議されておりとても勉強になった。

★「真に生きる力」とは、「大切な故郷を持ち、それをもとに自分と他人を幸せにする力」に他ならないという報告者の言葉が印象的だった。

★保護者の視野から幅広い視野へと目を向けるチャンスをもたらした。

★各々がカリキュラムを作り系統的に学習していることがよく分かった。



作った浮沈子を眺める子ども。
(理科実験教室より)

★「先生とのコミュニケーションの重要性」「自分たちは「サポーター」だ」と意識した活動」「子どもが大人とかかわりの中で成長した」「学校・PTAと地域の連携で、登下校時の道路が安全になった」という学校をサポーターする地域の方の声を聞くことができた。

★施設などの予算について、PTAや地域と連携したとりくみを聞き参考になった。

★もつと学校全体のより詳しい事情を確認し、勉強してから参加すればよかったと反省した。

★今までは事務職員のレポートが中心だったが、今回は教員のレポートもあり新鮮な気持ちだった。

★一体感のある分会づくりの大切さを感じた。

★生きる力を育む教育
読み聞かせボランティアや保護者などが参加し、それぞれの立場で本音の意見交換がなされた。



郷土料理教室参加の子どもの感想に
はかわいいイラストが多くあった。

★「真に生きる力」とは、「大切な故郷を持ち、それをもとに自分と他人を幸せにする力」に他ならないという報告者の言葉が印象的だった。

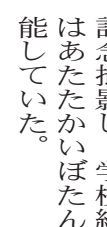
★保護者の視野から幅広い視野へと目を向けるチャンスをもたらした。

★各々がカリキュラムを作り系統的に学習していることがよく分かった。

★保護者の視野から幅広い視野へと目を向けるチャンスをもたらした。

★各々がカリキュラムを作り系統的に学習していることがよく分かった。

★「先生とのコミュニケーションの重要性」「自分たちは「サポーター」だ」と意識した活動」「子どもが大人とかかわりの中で成長した」「学校・PTAと地域の連携で、登下校時の道路が安全になった」という学校をサポーターする地域の方の声を聞くことができた。



郷土料理教室参加の子どもの感想に
はかわいいイラストが多くあった。

ひょうご教育フェスティバル 第59次兵庫県教育研究集会

分科会 展示・体験コーナー

アンケート、速報「まめプレス」より
概要と参加者の声 (一部抜粋)
※★印は参加者の感想です。

子どもを見守る必要性や表現運動がコミュニケーション能力の育成につながった報告があった。
★自分の実情を伝えることで、参加者の意見が深まり気づきの点が多かった。
10 総合学習

★「真に生きる力」とは、「大切な故郷を持ち、それをもとに自分と他人を幸せにする力」に他ならないという報告者の言葉が印象的だった。
★子どもたち一人ひとりの人権を大切にしながら、体験活動と結びつけた道徳的・人権的感性を高めていくことの必要性を強く感じた。
14 障害児教育

★地域でどう見つめ、どう育てるか。「皆の中で生きていくようにしたい」という保護者の考えなど様々な立場からの考えを聞き勉強になった。
15 国際連帯の教育

★修学旅行や体験活動等から学ぶ平和教育のとりくみや地域の身近な方の戦争体験から学ぶ総合的な学習のとりくみ等が報告された。
19 情報社会と教育

★新しい情報、知識、考え方を知ることができ、分会でいかしていききたい。
★養教だからと養教の部会だけではなく、他の部会に参加することで新しい気付きがあり大変参考になった。
21 教育課程

★基礎学力、確かな学力の向上をめざし、検定や放課後のチャレンジ学習、小中連携のＴＴでの算数の授業などの報告があった。
★男女共生の力にキュラム作りが大切だと思った。
17 環境・公害・食教育

★環境では、里山を通じたとりくみや小学校3年生の環境体験事業についてが報告された。また、食育の安心・安全な学校給食については、総合的な学習や家庭科、栄養教諭との連携など、学校全体でのとりくみが報告された。
★保護者の視野から幅広い視野へと目を向けるチャンスをもたらした。

★各々がカリキュラムを作り系統的に学習していることがよく分かった。
★他校のとりくみや悩みに共通するものが多く参考になった。
18 平和教育

★修学旅行や体験活動等から学ぶ平和教育のとりくみや地域の身近な方の戦争体験から学ぶ総合的な学習のとりくみ等が報告された。
19 情報社会と教育

兵庫県学校厚生会

冬のボーナス振込募集

冬のボーナスキャンペーン定期

振込でお預け入れいただくと

1年もの限定 (上乗せ利率0.25%)

1年もの 年利率 **0.80%** (税引後年利率0.64%)

通常利率 0.55% (税引後年利率0.44%)

ボーナスキャンペーン定期預金振込期間

2009年12月1日～
2010年1月8日まで

先が楽しみな高利率！計画的に預けて、しっかり預金

定期預金コース 通常利率

1年もの	年利率 0.55% (税引後年利率0.44%)	2年もの	年利率 0.60% (税引後年利率0.48%)
3年もの	年利率 0.65% (税引後年利率0.52%)	5年もの	年利率 0.75% (税引後年利率0.60%)

いつでも自由に払戻し可能！
無理せず貯まる、うれしい積立

臨時積立コース

変動金利 半年複利 年利率 **0.50%** (税引後年利率0.40%)

※キャンペーン期間中に満期を迎え、自動継続となる定期預金及び積立預金から定期預金への預け替え、現金との合算による継続定期預金は対象となりません。
※キャンペーン利率の適用は初回満期日までとなります。
(ご継続後は、継続時の通常利率を適用いたします。)

預金に関するお問い合わせは、支部事務所又は信用共済部まで

(財)兵庫県学校厚生会 信用共済部 TEL (078) 331-9974 (直通)
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4丁目7-34 <https://www.kouseikai.jp>